

富山大学人間発達科学部附属特別支援学校

学校改革ビジョン「学校の社会適応と同僚共生」

学校改革 3か年計画

「多忙」解消を
図りながら

核となる取組

年度 改革の柱	2015	2016	2017
多忙解消 (指標)	週2日19時前退勤 (10月より)	週3日19時前退勤	週5日19時前退勤 (タイムカード導入)
業務 会議の 見直し	・会議を17時まで終了徹底 ・業務引継表の雛形と マニュアル作成 ・無謬型出張の見直し	・業務のフラット化 ・業務引継の徹底 ・公務出張の見直しと削減 ・15時30分～17時で2会議実践	・教務主任3人体制 ・校務組織の改編 ・分掌部会の廃止
研究の 在り方の 見直し	・教員としての資質を高める 研修「学びあいの場」の 導入計画	・「学びあいの場」の組織的実施と 発信・公開 ・教職大学院における実地研修と しての採用	・「学びあいの場」の県立学校などへの 新しい研修としての展開 ・大学と連携した特別支援教育の 専門的力形成のための公開研修会 (年6回)の実施
教育課程の 見直し		・教員の研修時間確保や超過勤務削減に 伴う時間割の変更	・プロジェクト型カリキュラムをキー ワードとした「主体的・対話的で 深い学び」に向けた教育課程編成 ・個別的教育支援計画、個別の指導 計画の有効で効率的な活用への変更

「教員研修に貢献する学校」への機能強化

富附特支型研修「学びあいの場」

～自分らしい授業づくりを支える学びあい～

教師が支え合いながら、
共に専門家として成長する。

こうしてみたら・・・

こんな方法もあるよ・・・

授業者
そうなんだあ・・・

“教えあう”授業研究

参観者の捉えや気づきを基にアドバイス

「支援方法」に焦点化した問題解決型

転換

あのとき
A君が〇〇したのは
なぜだろう？

A君は何を手掛かり
にしたのだろう？

授業者
そうか！A君はもしかして〇〇だけ
ではわかりにくいのかもしいな・・・

“聴きあう”授業研究

授業者の思いを大切に気づきを促す

「関わりを観る力」を高める問題発見型

授業研究のパラダイム転換

- ・実践の背後にある、自分が気付いていない“ものの見方”を発見する。
- ・自分の解釈と同僚の解釈を重ね合わせることで、子供の学びのつまづきの原因がわかるようにする。